

筑波大学附属病院
看護師特定行為研修

受講者募集要項

令和 9 年度
第 20 期生募集用



総合臨床教育センター

1. 特定行為研修の目的・目標

本研修は、地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し社会に貢献できる有能な看護師を育成することを目的とする。

次の能力を養うことを目標とする。

- (1) 特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力
- (2) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行うことができる能力
- (3) 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力
- (4) 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決に向けて、多職種と効果的に協働できる能力

2. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、研修は、講義、演習又は実習によって行われます。

- 1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間：6 か月程度）

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	48 時間
フィジカルアセスメント	52 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	44 時間
医療安全学／特定行為実践	50 時間
合計時間数	269 時間

* 共通科目は e-learning を中心とした講義を受講し筆記試験に合格後、演習、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。

2) 区分別科目（選択科目）：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間：各区分 6 か月程度）

No	特定行為区分：特定行為 ※複数区分の選択可能	時間数	定員数
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連：経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10 時間	10 名
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連：侵襲的陽圧換気の設定の変更、非侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	29 時間	10 名
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連：気管カニューレの交換	9 時間	6 名
4	循環器関連：一時的ペースメーカの操作及び管理、一時的ペースメーカーリードの抜去、経皮的心肺補助装置の操作及び管理、大動脈バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	20 時間	4 名
6	胸腔ドレーン管理関連：低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び変更、胸腔ドレーンの抜去	13 時間	6 名
7	腹腔ドレーン管理関連：腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）	8 時間	6 名
8	ろう孔管理関連：胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換、膀胱ろうカテーテルの交換	24 時間	6 名
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連：中心静脈カテーテルの抜去	7 時間	10 名
10	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連：末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	10 時間	9 名
11	創傷管理関連：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去、創傷に対する陰圧閉鎖療法	35 時間	6 名
12	創部ドレーン管理関連：創部ドレーンの抜去	5 時間	6 名
13	動脈血液ガス分析関連：直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	15 時間	12 名
14	透析管理関連：急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	14 時間	6 名
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連：持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正	17 時間	21 名
16	感染に係る薬剤投与関連：感染兆候がある者に対する薬剤の臨時の投与	29 時間	6 名
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連：インスリンの投与量の調整	16 時間	6 名
18	術後疼痛管理関連：硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間	8 名
19	循環動態に係る薬剤投与関連：持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整、持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整、持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	28 時間	8 名
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連：抗けいれん剤の臨時の投与、抗精神病薬の臨時の投与、抗不安薬の臨時の投与	32 時間	5 名

*区分別科目は e-learning を中心とした講義を受講し筆記試験に合格後、演習（一部実技試験に合格後）、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。

3) 領域別パッケージ：領域ごとに対応する複数の特定行為区分に係る研修をパッケージ化

パッケージ名	含まれる特定行為区分 ※一部の特定行為に対応する研修の免除はありません。	時間数	研修期間
在宅・慢性期 4 区分 7 行為	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、ろう孔管理関連、創傷管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	85 時間	12 か月
外科術後病棟管理 12 区分 22 行為	呼吸器（気道確保に係るもの）関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、胸腔ドレーン管理関連、腹腔ドレーン管理関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈カテーテル管理）関連、創部ドレーン管理関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連	159 時間	18 か月
周術期麻酔管理 6 区分 15 行為	呼吸器（気道確保に係るもの）関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連	140 時間	12 か月
救急 5 区分 12 行為	呼吸器（気道確保に係るもの）関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	103 時間	12 か月
外科系基本 7 区分 10 行為	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、創傷管理関連、創部ドレーン管理関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連	116 時間	12 か月
集中治療 6 区分 17 行為	呼吸器（気道確保に係るもの）関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、循環器関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、動脈血液ガス分析関連、循環動態に係る薬剤投与関連	109 時間	12 か月

* 領域別パッケージは e-learning を中心とした講義を受講し筆記試験に合格後、演習（一部実技試験に合格後）、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。

3. 修了条件

本研修を修了するためには、次の条件のすべてを満たさなければならない。

- (1) 共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。
- (2) 前号を満たした後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価（一部の科目にあっては実技試験）に合格すること。

なお、本研修の修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令（平成 27 年厚生労働省令第 33 号）に基づき、特定行為研修修了証を交付する。また、本研修を修了した看護師については厚生労働省に報告を行う。

4. 研修期間

共通科目及び区分別科目の期間を合わせ、原則として 1 年（外科術後病棟管理領域に関しては 2 年）

5. 定員

研修全体の受入れ人数 最大 40 名

各区分別科目及び領域別パッケージ 各定員を設定

※領域別パッケージの定員は、当該パッケージに含まれる区分別科目の定員に含むものとする。

6. 受講条件

次の各号に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1) 看護師免許を有すること。
- 2) 看護師の免許取得後、通算 5 年以上の実務経験を有すること。（応募時）
- 3) 原則、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ組織長の推薦を有していること。
- 4) 原則、所属施設で指導医の協力が得られ臨地実習を行うことができること。※別紙を確認
- 5) 学業優先で受講可能であること。
- 6) 賠償責任保険にご自身で加入すること。
- 7) ご自身のパソコンを準備し、以下の受講に必要な PC スキル・環境があること。
 - ・ OS は Windows 11 とし、Microsoft Office（Word・Excel・PowerPoint）が利用可能であること。
 - ・ 基本的な PC 操作（Word を使用した文書作成、文書・図・画像のコピー貼り付け、データファイルの保存・管理、PowerPoint を使用した資料の閲覧・作成、メールの送受信・ファイルの添付（ビジネスメールの基本）、インターネット及び Wi-Fi 接続など）が可能であること。
- 8) 研修では、ご自身で用意したパソコンを使用すること。

* 血糖コントロールに係る薬剤投与関連は、日本糖尿病療養指導士（過去に資格を取得した者も含む）又は茨城県糖尿病療養指導士の資格取得者であることを受講条件とします。

＊他の指定研修機関を修了又は修了見込みで、当院への編入を希望する者は、応募書類を提出する前に必ず研修担当者へご連絡ください。なお、受講が決定された者は能力確認試験を入講後に実施します。

7. 出願手続き

募集要項請求方法

筑波大学附属病院ホームページ「筑波大学附属病院看護師特定行為研修」から、必要書類をダウンロードしてください。 ホームページ http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/kango_tokutei/

出願期間 一次募集 令和8年11月2日（月）～ 令和8年11月13日（金） **〈当日必着〉**
二次募集 一次募集の出願状況によりホームページにてお知らせします。

出願提出書類 ※ 提出された出願書類は返却いたしません。

- 1) 入講願書（別記様式 1）
- 2) 履歴書（別記様式 2-1）
- 3) 職務経歴書（別記様式 2-2）
- 4) 入講志願理由書（別記様式 3）
- 5) 推薦書（別記様式 4-1）

※ 原則として所属組織（看護部長の職位に相当する者）の推薦とします。

- 6) 受講同意書（別記様式 4-2）

※院内の入講希望者は提出不要です。

- 7) 臨地実習承諾書及び自施設実習症例確認チェックリスト（別記様式 4-3）

※院内の入講希望者は提出不要です。

- 8) 審査料・納入証明書 貼付台紙（別記様式 5）

※審査料 10,000 円を振り込んだこと及び振込日が確認できるものを貼付または添付すること。

※出願期間中に指定口座に振り込むこと（振込手数料は申請者負担）。

※審査料の納入及び出願書類の提出をもって、受講が確定するものではありません。

※納入した審査料（10,000 円）は理由を問わず返付できません。

- 9) 看護師免許（写）

※A4 サイズに縮小コピーし提出してください。

- 10) ＊該当者のみ「日本糖尿病療養指導士」又は「茨城県糖尿病療養指導士」の認定証の写し
- 11) ＊該当者のみ「特定行為研修修了証」及び「特定行為研修において患者に対する実技を行う
実習内容に関する証明書」の写し並びに履修証明書
- 12) ＊該当者のみ 特定行為に係る活動実績証明書（任意様式でも可）

審査料振込時の留意事項

振込人氏名

振込人氏名の前に「NLI トクテイコウイ」と受講される方の氏名を入力してください。

〈入力例〉 NLI トクテイコウイ ツクバ ハナコ

審査料振込先

銀行名 常陽銀行 研究学園都市支店

口座名義 ツクバダイガクフゾクビヨウインサンガクレンケイグチ

口座番号 普通 2 5 5 7 8 9 0

なお、口座名義人が「コクリツダイガクハウジンツクバダイガク」と表示されることがありますが、口座番号が一致していれば問題ありません。

出願書類提出方法 ※ 必ず「郵便書留」で送付、又は直接ご持参してください。

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地 1

筑波大学附属病院 総合臨床教育センター 看護師特定行為研修担当

直接ご持参される場合は、事前にご連絡ください。TEL：029（853）3610（問い合わせ窓口）

8. 願書受付後の面談

担当者から日程調整のご連絡をいたしますので、履歴書には必ず連絡がとれるメールアドレス・電話番号をご記入ください。また、Web 面談を行いますので、Web 環境のご準備をお願いします。

9. 選考方法

書類選考により行います。選考結果については、メールアドレスへお知らせします。なお、受講者の決定にあたっては、定員、受入体制及び応募状況等を総合的に勘案します。そのため、受講条件を満たしている場合であっても、今回の募集において受講者として決定されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、電話等による可否に関する問い合わせには応じられません。

10. 入講料及び受講料等について

- ① 入講料 30,000 円（税込）
- ② 共通科目の受講料 一律 482,000 円（税込）
- ③ 希望する特定行為の受講料（受講料一覧表参照）
- ④ 能力確認試験料 30,000 円（税込）＊該当者のみ

※請求書の詳細については、入講後にご案内します。

※入講料・受講料等は原則として返付しません。

※研修のための宿泊及び交通費等は実費負担となります。

11. 再試験料について

再試験料は1科目又は1区分別科目につき10,000円（税込）とする。ただし、実技試験（OSCE）における区分別科目（領域別パッケージの区分別科目含む）の再試験料は、1行為につき30,000円（税込）とする。

12. その他

交通のご案内

当院ホームページ <https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/access/>を参照

駐車場のご案内

駐車場がございませんので、恐れ入りますがお車でお越しの場合は周辺の有料駐車場をご利用いただくか、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

● 個人情報の取り扱いについて

筑波大学附属病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

【区分別科目受講料一覧表】

コース No	区分別科目：特定行為	受講料 (税込)
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	42,800 円
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	91,100 円
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	35,500 円
4	循環器関連	103,700 円
6	胸腔ドレーン管理関連	62,200 円
7	腹腔ドレーン管理関連	36,500 円
8	ろう孔管理関連	80,200 円
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	47,400 円
10	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈カテーテル管理）関連	82,600 円
11	創傷管理関連	163,400 円
12	創部ドレーン管理関連	31,800 円
13	動脈血液ガス分析関連	63,600 円
14	透析管理関連	43,900 円
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	52,800 円
16	感染に係る薬剤投与関連	64,600 円
17	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	49,700 円
18	術後疼痛管理関連	42,000 円
19	循環動態に係る薬剤投与関連	106,800 円
20	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	86,300 円

【領域別パッケージ受講料一覧表】

領域別パッケージ	受講料 (税込)
在宅・慢性期領域	331,900 円
外科術後病棟管理領域	695,100 円
術中麻酔管理領域	399,100 円
救急領域	336,600 円
外科系基本領域	465,600 円
集中治療領域	455,400 円

区分別科目実習に係る協力施設（自施設又は地域の病院等）一覧（登録順）

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

医療法人社団筑波記念会筑波記念病院

JA 茨城県厚生連総合病院水戸協同病院

茨城県厚生連茨城西南医療センター病院

社会福祉法人恩賜財団済生会 龍ヶ崎済生会病院

医療法人慶友会守谷慶友病院

医療法人社団善仁会小山記念病院

一般財団法人筑波麓仁会筑波学園病院

東京医科大学茨城医療センター

茨城県立こころの医療センター

社会福祉法人恩賜財団済生会神栖済生会病院

茨城県厚生農業協同組合連合会総合病院土浦協同病院

茨城県立こども病院

独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター

株式会社日立製作所日立総合病院

社会医療法人若竹会つくばセントラル病院

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

医療法人健佑会いちほら病院

成田富里徳洲会病院

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター

茨城県厚生連 JA とりで総合医療センター

医療法人博仁会志村大宮病院

医療法人竜仁会牛尾病院

公益社団法人取手市医師会取手北相馬保健医療センター医師会病院

独立行政法人国立病院機構茨城東病院

茨城県立医療大学付属病院

社会医療法人社団光仁会総合守谷第一病院

日本赤十字社水戸赤十字病院

医療法人社団協栄会大久保病院

いばらき診療所ひたち

常陸ホームクリニック